

須恵町

みんなで知って支えあおう！

認知症ガイドブック

認知症は、誰でもなる可能性がある身近なものです。

そのため、一人ひとりが認知症について“知る”ことがとても大切です。

このガイドブックでは、認知症の人が他の人々と互いに力を合わせ支えあいながら、住み慣れた須恵町で安心して暮らすことができるように、認知症の基礎知識や関連するサービス等をまとめています。ぜひご活用ください。



◆ 認知症とは？

認知症は、様々な原因によって脳の細胞が傷つき、覚えたり考えたりする機能が低下することで、生活がしにくくなった状態をいいます。

◆ 認知症の種類

認知症は原因によっていくつか種類があります。
代表的なものは以下の4つです。

アルツハイマー型認知症

- ・記憶をつかさどる海馬を中心に脳全体が小さくなることで発症します。
- ・進行は緩やかです。もの忘れや、時間や場所が分からなくなる症状がよく見られます。

脳血管性認知症

- ・脳の血管がつまったり破れたりすることで発症します。
- ・生活習慣病がある人に多く見られ、血管に障害が起きた場所によって 症状が異なります。
- ・意欲が低下したり、感情が不安定で、すぐに泣いたり笑ったりします。

レビー小体型認知症

- ・レビー小体という物質が神経にたまることで発症します。
- ・幻覚が見えます。ゆっくり動いたり小刻みな歩き方をします。

前頭側頭型認知症

- ・司令塔役の脳の前側や横側を中心に障害されることで発症します。
- ・意欲がなくなり、感情表現が乏しくなります。
- ・社会のルールを守れなくなります。（例：支払いをせずお店の物を持って行ってしまう）

(※上記は特徴的な症状を記載しており、記載している症状が必ず出るとは限りません。)

この他にも、薬の影響や慢性硬膜下血腫等、認知症の原因は様々です。中には治る病気の可能性もあるため、早い段階で病院を受診し、認知症を引き起こしている原因を明確にすることが大切です。

ポイント

症状は人それぞれです
周囲の協力があれば落ち着く症状もあります
みんなで “認知症” と認知症になった “その人” のことを
理解していくことが大切です



◆ 軽度認知症 (MCI) について

日常生活に影響を及ぼす程度ではないため認知症と診断されませんが、記憶障害などの軽度の認知機能障害が認められ、正常とも言い切れない中間的な段階を軽度認知障害 (MCI : mild cognitive impairment) と呼びます。

軽度認知障害と診断された人は、必ずしも認知症に移行するとは限りません。この状態にとどまっている人、健常に戻る人も多く報告されています。この段階で、脳の活性化や生活習慣の改善に取り組むことは非常に重要です。

また、軽度認知障害の段階で、認知機能の低下をおこす原因疾患が分かれば、適切な治療により進行を予防できる可能性が高くなります。

加齢によるもの忘れと軽度認知障害や認知症によるもの忘れの違い

	加齢によるもの忘れ	軽度認知障害(MCI)によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
もの忘れ	体験の一部を忘れる ヒントがあれば思い出せる	体験の一部を忘れる ヒントがあれば思い出せることが多い	体験したこと自体を覚えていない ヒントがあっても思い出せない
(例)	何を食べたか思い出せない 人の名前が思い出せない		食べた事自体を覚えていない その人が誰か分からない
症状の進行	あまり進行しない	認知症に進行する場合もあれば、 健全な状態に戻る場合もある	だんだん進行する
自覚	忘れっぽいことを 自覚している	もの忘れの自覚は あることが多い	忘れたことの自覚が薄れる

◆ 家族が見つけた「認知症」早期発見のめやす

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

<p>もの忘れがひどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる <input type="checkbox"/> 2. 同じことを何度も言う・問う・する <input type="checkbox"/> 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている <input type="checkbox"/> 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う 	<p>人柄が変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 11. 些細なことで怒りっぽくなった <input type="checkbox"/> 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった <input type="checkbox"/> 13. 自分の失敗を人のせいにする <input type="checkbox"/> 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
<p>判断・理解力が衰える</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった <input type="checkbox"/> 6. 新しいことが覚えられない <input type="checkbox"/> 7. 話のつじつまが合わない <input type="checkbox"/> 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった 	<p>不安感が強い</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする <input type="checkbox"/> 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる <input type="checkbox"/> 17. 「頭が変になった」と本人が訴える
<p>時間・場所がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった <input type="checkbox"/> 10. 慣れた道でも迷うことがある 	<p>意欲がなくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった <input type="checkbox"/> 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった <input type="checkbox"/> 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

出典/公益社団法人認知症の人と家族の会作成

ポイント

早期受診が大切!

- ① 早く治療すれば治る病気の可能性がある
- ② 薬やリハビリで症状の進行を遅らせることができる可能性がある
- ③ 症状が軽いうちから今後の見通しを立てて準備をすることができる

異変に気づいたら「年だから」「気のせいだろう」と自分で判断せず、**できるだけ早く相談 (P9) や受診 (P3)**をしましょう



◆ もの忘れが気になったときの受診先

まずはかかりつけ医へ相談！

かかりつけ医

かかりつけ医は身近な医療の専門家です。通院している人の日頃の健康状態をよく知っており、相談にのってもらえます。また、必要に応じて、より専門的な医療機関へ橋渡しをしてもらえます。



須恵町の認知症外来

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ● 医療法人社団正信会
☎ 092-935-3755 | 水戸病院 物忘れ外来
須恵町旅石115-483 |
| ● 医療法人成雅会
☎ 092-932-5881 | 泰平病院
須恵町新原14-7 |
| ● 医療法人高坂会
☎ 092-710-8811 | たかさき脳神経外科クリニック
須恵町須恵508-1 |

福岡県認知症医療センター

福岡県が指定している認知症医療の拠点病院です。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| ● 医療法人社団緑風会
☎ 092-935-0066 | 水戸病院 福岡県認知症医療センター
志免町志免東4-1-1 |
|-------------------------------|----------------------------------|



※いずれの医療機関も事前に電話をして受診してください

✿ 受診する時のポイント ✿

本人の普段の様子がよく分かる人（家族等）と一緒に受診してください。
以下のような点をメモ等にまとめて持参することもおすすめです。

- **いつ、どこで、どのようなこと（認知症が疑われる出来事）が起こったか**
（*最初の異変がいつから起きて、どのように症状が進行してきたのか分かるように書いておくと、経過を分かりやすく伝えられます）
→ P13のおぼえがきをご活用ください。
- **病気や飲んでいる薬について**
（*薬については、『お薬手帳』の持参をおすすめします）
- **医師に聞きたいこと**

メモにまとめておけば
医師に渡して読んでも
もらうこともできますよ



◆ 運転について

加齢とともに体は変化してきます。例えば、視野が狭くなったり、記憶力・判断力が低下したり、筋力が衰えたり、反射神経が鈍くなったり…。そのため、若いころのような運転ができなくなり、運転時の操作ミスが起こりやすくなります。



最近、運転をしていて「若いころとちょっと違うな」「おかしいな」とか「高齢になって、自分の運転が不安になってきた」と感じることはありませんか。また、ご家族にシニアドライバーがいらっしゃるかは、安全に運転できているか、事故を起こしたりしないか、心配になることはありませんか。

例えば、若いときに比べて、次のようなことが増えてきたら、これからの運転について考えたり、家族で話し合ったりする時期かもしれません。

- 左右のウインカーを間違えて出したり、ウインカーを出し忘れたりする
- 歩行者や障害物、他の車に注意が向かないことがある
- カーブをスムーズに曲がれないことがある
- 車庫入れのとき、塀や壁に接触することが増えた
- 信号や標識を無視して通行することがある など

*このようなとき、同乗者は「危なかったよ」とシニアドライバーが危険を自覚できるような声かけをしてください。

「運転免許証の自主返納」をご存知ですか？

「運転に自信がなくなった」「家族から運転が心配と言われた」などの理由で免許を受けている本人が、本人の意思で有効期限が残っている運転免許証を返納することが、「申請による運転免許の取消し」いわゆる「**運転免許証の自主返納**」です。

相談・問い合わせ先：粕屋警察署 ☎ 092-939-0110

高齢者運転免許証自主返納の支援について

75歳から85歳の間運転免許証を自主返納された方に交通系ICカードを交付します。

対象となる人：次の要件をすべて満たす人

- 運転免許証自主返納時に75歳以上85歳以下の人

- 申請時に須恵町に住民票がある人

申請期間：自主返納した日から6か月以内

詳細は **須恵町役場 総務課**

☎ **092-932-1151**にお問い合わせ下さい。



◆ 認知機能の低下を予防するために

生活習慣を整えて生活習慣病を防ぐことや、脳をきたえて脳の機能を維持することが大切です。

● 生活習慣を整えるために

栄養バランスの良い食事を取りましょう

食べすぎや、塩分・糖分・脂質のとりすぎに注意しましょう。ご飯や野菜、肉類などを偏りなく食べましょう。また、水分をとることも忘れずに。

運動する習慣をつけましょう

体を動かすことには、肥満予防や血行改善、脳を活発にする効果が期待できます。散歩やジョギング等の軽い運動を無理なく続けましょう。

規則正しい生活リズムで過ごしましょう

朝から食事をとって活動し、夜にぐっすり眠りましょう。昼寝は、深く眠らないよう 30 分未満にとどめるとよいです。

健康管理をしましょう

血圧を測る、薬を忘れずに飲む、定期的な受診する、健康診断を受ける等、体が良い状態でいられるよう心がけましょう。

● 脳をきたえるために

役割をもちましょう

役割があると、計画したり、体を動かすことにつながり、生活にハリが生まれます。また、生きがいを持つことにもつながります。

趣味を楽しみましょう

好きなことをしていると、脳が活発になります。長く続けられる趣味は、生活にメリハリがついたり、仲間づくりにも役立ちます。

いろんな人と交流しましょう

人と会ったり話したりすることは、脳にたくさんの刺激を与えます。地域行事やボランティア活動に参加する等、積極的に外に出てお話ししましょう。

メモ

大切なのは

“楽しく続けられること” です。

ここにあることをヒントにやってみたいことを考えてみましょう。【p10,11】



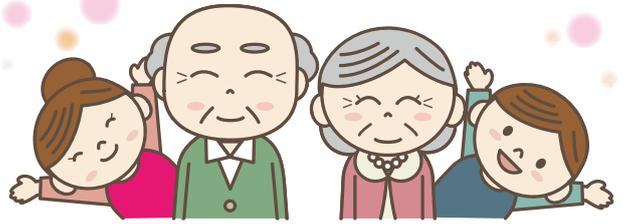
◆ 認知症の人と接するときのポイント

認知機能が低下しても、感情やその人らしさは残っています。認知症の人でも周りの人も穏やかに過ごせるように、以下を参考にして接してみてください。

ポイント

基本姿勢は、3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



—具体的な対応のポイント—

①まずは見守る

②笑顔で対応

③1人で声をかける

④正面から声をかける



⑦相手の言葉をゆっくり聴く

⑥ゆっくり、はっきり、短い文章で話す

⑤目線の高さを合わせる

【対応の例】

・ご飯を食べたのに「まだ食べていない」と言う

→認知症の人は、直前のできごとを忘れてしまうので、説明してもなかなか理解できません。「さっき食べたでしょ」と叱らず、「先にこれ食べておいてね」と言ってお菓子やフルーツを出したり、1回分のごはんの量を減らしておいて、残りをおにぎりにして出したりしましょう。

・「お金を盗まれた」と言う

→「通帳がない」「お金を盗まれた」という発言に対して、「また置き忘れたんでしょ」と責めるのは禁物です。「それは大変」と共感して一緒に探してあげましょう。本人が見つけれ出せるように「ここを探してみましよう」と誘導したり、見つかったら一緒に喜んだりすることも効果的です。

ご家族の方（介護している方）へ

認知症の人の介護は、家族だけでは大変なこともあります。

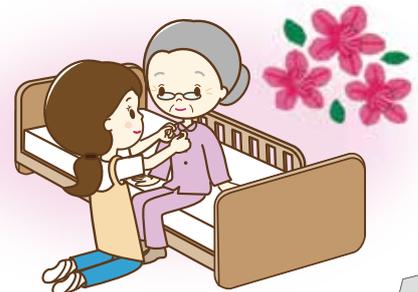
食事や睡眠は充分にとれていますか？

自分の時間を持つことができますか？

介護には、**家族の心と体が健やかであることも大切**です。

頑張りすぎず、周りの人にも協力してもらいましょう。

相談窓口にも遠慮なくご相談ください。【p9～p12】



◆ 認知症の経過と支援の流れ

認知症の経過	日常生活は自立	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの日常生活
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> 外出するのが面倒になった 服装に気を遣わなくなった 同じことを何度も話すことが増えた 小銭での計算が面倒でお札で支払うようになった 料理の味付けが変わった 	<ul style="list-style-type: none"> 大事な約束を忘れ困ることがある 計算の間違いが多くなった 趣味や楽しみに興味なくなった 冷蔵庫の中に同じものがいくつもある その場をとりつくろふ言動がある 財布などの物が見当たらないと家族等の身近な人のせいにする 	<ul style="list-style-type: none"> たった今しようとするのを忘れる 料理をしなくなる ささいなことで怒る 薬の管理がでなくなる 道に迷って帰れなくなる
本人の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> 自分がこれまでと違うことに気づき、この先どうなるのか不安を感じている 	<ul style="list-style-type: none"> 物忘れや失敗が増え、これまでできなかったこと、コミュニケーションもとりにくくなり、失敗した時、どうしたらいいのかわからない 	
支援のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に認知症や利用できるサービスなどについて学びましょう。 健康づくりや、認知機能の低下を予防する取り組みを実践しましょう。【p5・10】 	<ul style="list-style-type: none"> 気になりはじめたら早めにかかりつけ医や各種窓口にご相談しましょう。【p3・9】 自分で判断ができなくなった時にどんなことをしてほしいか家族と話し合っておきましょう。 いざという時の相談先・連絡先を整理しておきましょう。(例:家族、かかりつけ医、ケアマネジャーなど)【p14】 	<ul style="list-style-type: none"> 本人ができないことが増え、サポートを受けましょう。 『認知症の人と暮らし方』を参考に接しましょう。
相談	●地域包括支援センター(p9)	●居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)	●認知症
医療	●かかりつけ医	●認知症外来 (p3)	●福岡県認知症医療センター (p3)
		●認知症初期集中支援チーム (p9)	
介護予防	●わくわくデイサロン (p10)	●学びの広場 (p10)	●行政区ミニデイサービス (p10)
	●シルバー人材センター (p10)		
見守り	●家族	●地域住民	●民生委員
	●食の自立支援サービス (p11)	●緊急通報システム (p11)	●認知症サポーター
交流	●まちづくりカフェCoCo (p11)	●認知症カフェ (p11)	
家族支援	●認知症サポーター養成講座 (p12)	●家族介護者交流会 (p12)	
権利擁護	●心配ごと相談 (p12)	●弁護士相談 (p12)	●消費生活センター (p12)
	●日常生活自立支援事業 (p12)	●成年後見制度 (p12)	
住まい	●自宅	●有料老人ホーム	●サービス付き高齢者向け住宅
	●ケアハウス		

見守りがあれば 活は自立	日常生活に 手助けや介護が必要	常に介護が必要
<p>としたこと話したことを った 怒りっぽくなった きなくなった なくなりそうになったこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> •季節に合った服を選べなくなる •トイレや入浴などがうまくできなくなる •すぐに怒ったり、大声を出す 	<ul style="list-style-type: none"> •家族の顔などが分からなくなる •声かけや介護を拒む •食べ物の飲み込みに支障がでる
<p>たことができなくなり、気持ちが沈んでしまう それまでやっていた趣味もやめてしま らず、イライラし不安が高まる</p>		<ul style="list-style-type: none"> •言葉を理解したり話したりするこ が難しくなる
<p>ことを手助けするよう心 接するときのポイント』を てみましょう。 【p6】</p>	<ul style="list-style-type: none"> •頑張りすぎず、介護保険などのサービスを 活用しましょう。 •本人・家族の交流会などへの参加もおすす めです。 【p12】 	<ul style="list-style-type: none"> •最期の迎え方を家族で話し合ってお きましょう。 •本人が安心できる環境づくりを心が けましょう。
<p>の人と家族の会 (p10) ●福岡県認知症介護相談窓口 (p10)</p>		
<p>●シニアクラブ (p10)</p>		
<p>●キャラバンメイト ●捜してメール (p11)</p>		
<p>●介護用品給付サービス (p12)</p>		
<p>●グループホーム ●介護老人保健施設 ●介護老人福祉施設</p>		

◆ 相談窓口

高齢者の相談窓口

まずは包括支援センターへ！

須恵町地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者のみなさまやその家族からの相談に応じ、いつまでも住み慣れた須恵町で暮らせるように支援を行う相談窓口です。

須恵町から委託を受け、須恵町社会福祉協議会が運営しています。

センター営業日

平日/月曜日～金曜日（午前8時30分～午後5時15分）

※土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)はお休みです。

※相談は無料です。

☎ 092-410-9312

ひとりで抱え込まずに、
お気軽にご相談ください



須恵町地域包括支援センター
ホームページQRコード



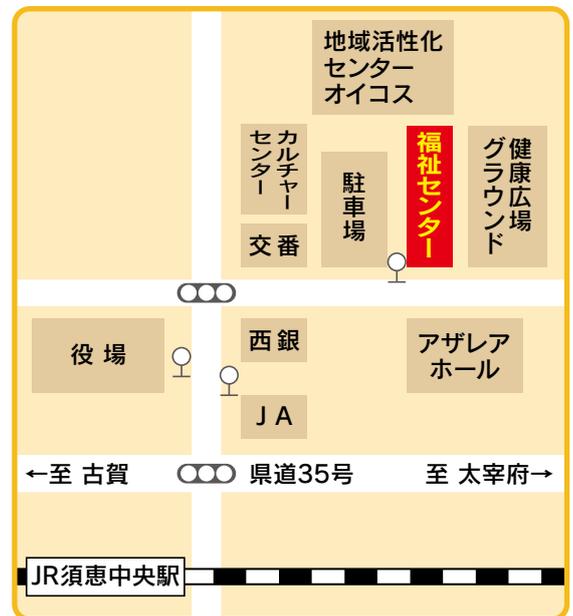
交通アクセス

- 須恵町コミュニティバス …… 福祉センター下車
- 西鉄バス …… ③ ③6 アザレアホール前下車
⑤ 須恵町役場前下車・徒歩3分
- JR …… 須恵中央駅下車・徒歩10分
- 福祉センター駐車場(無料) …… 80台

〒811-2114

須恵町大字上須恵 1167-3 福祉センター内

※ほたるの湯と同じ建物です



一緒にサポートします！

認知症初期集中支援チーム



医療・介護・福祉の専門職のチームです。
認知症の症状でお困りの人を訪問し、必要な医療や介護等のサービスに早期につながるよう支援しています。
まずは須恵町地域包括支援センターへご相談ください。

◆ その他の相談窓口

認知症の人の介護経験がある人が、電話や面談により相談に応じます。

● 公益社団法人 認知症の人と家族の会 福岡県支部

☎ **092-771-8595** 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ 団体連絡室
火曜・金曜 10:30～15:30(第3火曜は除く)

● 福岡県認知症介護相談窓口

☎ **092-574-0190** 春日市原町3-1-7 クローバープラザ4階
水曜・土曜 11:00～16:00

福岡県若年性認知症サポートセンター

若年性認知症は、65歳未満で発症する認知症です。

若くして発症するため、仕事や子育てに影響することもあり、経済的に困窮するおそれもあります。また、うつ病などの精神疾患と間違われることもあり、診断までに時間がかかることも少なくありません。



若年性認知症支援コーディネーターが、認知症の診断・治療、就労支援、社会参加、介護サービス等の相談に応じます。

☎ **0930-26-2370** 行橋市金屋649-1
月曜～金曜 10:00～16:00(お盆、年末年始を除く)

◆ 地域のいろいろな取り組み・支援

介護予防

● わくわくデイサロン

運動や音楽、陶芸などの活動を通して、脳や体を動かします。楽しく交流できる場でもあり、閉じこもり予防にもつながります。

須恵町役場 福祉課 ☎ **092-932-1151**

● 須恵町シルバー人材センター

60歳以上の方が、特技や経験を生かして働いたり、仲間と交流しながら、生きがいづくりや地域社会に貢献しています。

須恵町シルバー人材センター ☎ **092-936-3201**

● 学びの広場

ふれあいレインボー(第3小校区コミュニティ事務局)で幅広い年齢層が楽しみながら短時間で受講できる講座を行っています。

● 行政区ミニデイサービス

区民が主体となり公民館や須恵町の公共施設等で、趣味やレクリエーションを行なっています。

● 須恵町シニアクラブ連合会

会員の健康づくり・介護予防の推進に努め、高齢者相互支援や地域奉仕活動を通して、生きがいややりがい、喜びなど高齢者が楽しく参加できる活動を展開しています。

地域には他にもさまざまなボランティアやサークル活動等があります。

詳しく知りたい方は、気軽にお問合せください。 須恵町社会福祉協議会 ☎ **092-933-2160**

見守り

民生委員やボランティアも見守りを行っています

● 食の自立支援サービス

65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯等で調理や買い物をするのが困難な方で、介護認定において要支援1以上又は、重度の身体障がい者の方に、栄養バランスのとれた食事をお届けし、あわせて安否確認を行います。

● 緊急通報システム

一人暮らしや高齢者のみの世帯で、障害や病気などがあり、見守りが必要な方が対象です。緊急通報装置を設置し、定期的な安否確認の連絡をしたり、ボタン一つで救急要請ができるシステムです。

● 捜してメール

高齢者が行方不明になった際に、協力サポーターや協力事業者にメールを配信し、捜索に協力してもらいます。事前登録が必要です。

須恵町役場 福祉課 ☎ 092-932-1151

交 流

● まちづくりカフェCoCo(傾聴カフェ)

心がほっとする居場所づくりを目指しています。傾聴の希望の有無に関わらずご利用いただけます。

須恵町共生のまちづくり推進協議会 ☎ 092-932-1231

● 認知症カフェ

認知症にかかわらず、誰でも気軽に参加してお話できる場所です。医療や介護の専門職への相談もできます。講話やレクリエーション等の催しも行なっています。

・ コミュニティカフェすまいる (奇数月)

介護老人保健施設 ニューライフ須恵

☎ 092-937-1055

・ カフェぬくもりの里 (不定期)

秦平病院 地域連携室

☎ 092-932-5881

・ つつじカフェ

須恵町地域包括支援センター

☎ 092-410-9312

認知症カフェの開催日時、場所、参加費などの詳細はそれぞれ各事業所へお問い合わせ下さい。
※広報すえにも掲載されている場合があります。



他にも須恵町ではみなさんに住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、様々なサービスを実施しています。



須恵町役場HP

家族支援

● 認知症サポーター養成講座

より多くの人に認知症について知っていただけるよう、講師を派遣して出前講座を行っています。講座は無料です。基本90分で、「認知症の基礎知識」や「認知症の人や家族の気持ち」「対応のポイント」などをお伝えします。

※認知症サポーターは、講座を通して認知症を正しく理解し、できる範囲で認知症の人やその家族をサポートする人の名称です。
須恵町地域包括支援センター ☎ 092-410-9312

● 介護用品(紙おむつ)給付サービス

65歳以上の在宅(概ね月の1/2以上)の高齢者で、常時紙おむつが必要な要介護認定がある方または重度の身体障がい者の方に対し、紙おむつ(現物)を給付し介護者の負担を軽減します。

須恵町役場 福祉課 ☎ 092-932-1151

● 家族介護者交流会

在宅にて家族を介護している方の心身のリフレッシュと、在宅介護に関する悩みなどを自由に語り合う場として、年に3,4回開催しています。

須恵町社会福祉協議会 ☎ 092-933-2160

権利擁護 (権利を守る)

● 成年後見制度

認知症等により判断能力が不十分な人に対して、成年後見人等が財産管理や契約の締結等の支援を行います。

須恵町地域包括支援センター ☎ 092-410-9312
法テラス福岡事務所 ☎ 0570-078359
福岡家庭裁判所(代表) ☎ 092-711-9651

● 日常生活自立支援事業

認知症等により日常生活でお困りの方が、自立した生活を送れるように、福祉サービスの利用手続きや金銭管理等のサポートを行ないます。

● 弁護士相談(要予約)

弁護士が無料でお話を伺います。

毎月第2・3木曜日 13:00~15:00(祝日を除く) 1件につき20分間

※月1回のご利用となります。予約は月初めの1日からとなります。

● 心配ごと相談

行政相談員・人権擁護委員、民生委員が無料でお話を伺います。

毎月第1木曜日 13:00~16:00(祝日を除く)

※電話相談も可能 092-933-2993



須恵町社会福祉協議会 ☎ 092-933-2160

● 消費生活センター

悪質商法、多重債務など契約や取引に関するトラブルについての相談窓口です。

かすや中南部広域消費生活センター ☎ 092-936-1594

◆ 関わっている人たち

本人氏名		
緊急連絡先	氏名	続柄
	住所	
	電話番号	
主な病気		
かかりつけ	病院名	
	診療科	
	主治医	先生
担当 ケアマネジャー	事業所名	
	名前	
	連絡先	

◆ 利用している介護サービス

事業所名	連絡先	利用日など

◆ 参加している地域活動など

名称	連絡先	活動日など



須恵町地域包括支援センター 発行
令和7年10月改訂